

虹*色*通*信



名古屋市中区栄 4-15-41-407

2015年の東京都渋谷区の条例制定から始まった「同性パートナーシップ制度」が、次第に全国に広がり、政令指定都市でも、札幌市、福岡市に続き、大阪市、千葉市で準備が進められています。名古屋市も、今年度に1万人規模のLGBTに関するアンケート調査を実施する予定であり、この調査結果を踏まえて来年度には、何らかのLGBT施策が実現される可能性があります。

私たち PROUD LIFE としても、パートナーシップ制度や相談事業、居場所事業等、より良い施策を愛知県や名古屋市で実現できるよう、声を上げていきたいと思っております。みなさまのご協力をお願いいたします。

(代表理事 安間 優希)

誰にも言えない悩みにこたえる相談員に LGBT電話相談員養成講座 15名が受講

PROUD LIFE は、2012年から電話相談「レインボーホットライン」を開設し、年間150件程度の相談に対応するとともに、全国的なLGBT支援のネットワークと連携・協力し、相談支援活動を行っています。いま、全国各地でLGBTへの相談支援事業を実施する自治体が生まれていますが、それを担う人材が不足しています。そこで今年、PROUD LIFE が培ってきたノウハウを生かして、「LGBT電話相談員養成講座」を開催しました。これまでも単発での養成講座を開催していましたが、今回は、全6日間のプログラムを2か月以上にわたり実施。15名の方が受講しました。

講座内容は、4日間8講座の座学による基礎講座と2日間の実践講座。基礎講座では、LGBTに関する理論だけでなく、当事者のリアルな悩みにこたえるため、依存症や嗜癖、感染症などの問題から、トランスジェンダーに関する治療など、多彩な講師陣による幅広い分野の講義を実施しました。また、実践講座では、具体的なロールプレイも織り交ぜながら、電話相談の実践に役立つものとなりました。

受講者は、毎回感想レポートを提出。「電話相談が思ったより難しいものだとわかった」「自分に出来るか自信がないが、やってみたい」などの感想が出されました。

事情により最後まで受講できなかった人を除き、最終



日には、修了証書を受け取りました。講座終了後、すでに「レインボー・ホットライン」の相談員として活躍している修了生もいます。

今回の養成講座は、長らく活動に参加できていなかった会員の方も受講されるなど、大変好評でした。今後も養成講座を開催していく予定ですので、今回受講できなかったみなさんも、次回はずいぶんご参加ください。

各地で広がるLGBT電話相談 2018年から岐阜県でも実施

今年度から、岐阜県でLGBT専門相談がスタートしました。月1回の電話相談ですが、LGBTの当事者や親御さんから悩みが寄せられています。相談対応等について、PROUD LIFEも実施に協力しています。

岐阜県LGBT専門相談

058-278-0858 (毎月第3金曜日17時~20時)

札幌市の教訓から学ぶパートナーシップ制度

2017年度の総会では、鈴木賢さん（明治大学法学部教授）による記念講演「同性パートナーシップ制度をつくる～札幌市の経験から」が行われました。鈴木さんはドメスティック・パートナー札幌呼びかけ人代表として、札幌市における同性パートナーシップ制度（2017年6月より施行）創設に尽力をされた方です。札幌における取り組みを拝聴し、札幌市民としてパートナーシップ制



講演をいただいた鈴木賢さん

度がなぜ必要なのかという市民の声をどのように市長、議員、市の職員に届けたのかを知ることができたとともに、名古屋での取り組みにも大いに参考になるものでした。

また、総会に来賓として挨拶をされた余語さやか名古屋市長議員（当時）に、PROUD LIFEが集めた河村市長あてのパートナーシップシール投票ボードを手渡しました。



事務局員からボードを手渡された余語さん

名古屋市でもパートナーシップ制度を

PROUD LIFEでは、パートナーシップ制度を求める名古屋市長宛の要望書を提出予定で、河村市長に直接面会して想いを伝える予定です。

隔月開催の PROUD LIFE 活動報告交流会 虹色ラウンジの報告（第13回～18回）

隔月で開催している活動報告交流会「虹色ラウンジ」の第13回から18回について、簡単にご報告いたします。

第13回「LGBT啓発活動について考えよう～ASTAの活動から」

LGBTに関する啓発活動に取り組むことをめざして設立された「NPO法人ASTA」の代共同代表の久保勝さん、松岡成子さんをお招きし、設立の経緯や、学校現場での講演活動の手法についてうかがいました。

第14回「トランスジェンダーいま昔～トランスジェンダー用語の移り変わりを考える」

長年、トランスジェンダーの調査に取り組みされてきた社会学者の鶴田幸恵さん（大学）を講師に、トランスジェンダーにかかわる用語の変遷から見える当事者の考え方の変化について考えました。

第15回「LGBTと家族」

ゲイの子を持つ母親であり、PROUD LIFE会員でもあるSさんの体験談を中心に、LGBTに関わる親子・家族

関係について考えました。

第16回「自治体のLGBT施策について考えよう」

近年、急速に広がりつつある地方自治体のLGBT施策について、代表理事の安間優希を講師に、その位置づけや課題について考えました。

第17回「同性婚・パートナーシップの現状について」

LGBT支援法律家ネットワーク会員で、当会理事の堀江哲史弁護士を講師に、同性婚人権救済申し立ての現状やパートナーシップ制度の課題について、学びました。

第18回「映画『ハンズ・オブ・ラブ』を題材に同性パートナーシップについて考えよう」

アメリカの実話をもとにした映画を題材に、同性カップルの相続の問題など同性婚の必要性やLGBT活動の在り方について考えました。